



生涯学習ルーム活動を応援します

生涯学習ルームは、地域の皆さまが気軽に参加できる身近な学習の場として、市内全小学校の特別教室などを活用して開設されています。老若男女を問わず、新しい出会いやふれあいの場になることを願っています。

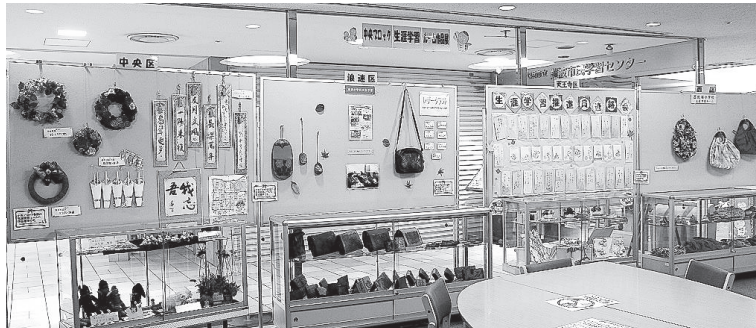
総合生涯学習センター（梅田）、阿倍野市民学習センター、難波市民学習センターの3学習センターでは、各区で取り組まれている生涯学習ルーム事業の紹介と新たな参加の促進、校区や区を越えた交流のきっかけづくりとして、各校区の生涯学習推進員の方々の協力を得ながら、書道、絵画、陶芸、手芸など様々な作品を展示しています。

また、日頃の生涯学習ルーム活動の一端を市民の皆さまに知っていただくため、『体験教室』の開催や生涯学習ルームの情報提供なども行っています。

ぜひ、学習センターにお越しいただき、『生涯学習ルーム』を体験し楽しんでいただきたいと思います。



総合生涯学習センター ネットワークコーナー



難波市民学習センター ロビー



阿倍野市民学習センター ロビースペース



体験教室（阿倍野）



体験教室（梅田）



問合せ 総合生涯学習センター・地域支援担当 (☎6345-5004)
阿倍野市民学習センター・地域支援担当 (☎6634-7951)
難波市民学習センター・地域支援担当 (☎6643-7010)



おおさか歴史探訪 90

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

しぎの 鳴野古戦場跡

— 大坂の陣の激戦地 —

今年は大坂の陣から数えて400年にあたります。大阪市内には、大坂の陣にまつわる古戦場がいくつもあります。今回は鳴野の古戦場について紹介します。

大阪城の北東側に鳴野の地名があり、地下鉄今里筋線にも鳴野駅があります。このあたりは古代には河内湖周辺にひろがる低湿地の一部でしたが、堤防をつくるなど治水事業が進み、中世には荘園などもありました。堤防の高まりの間に低湿地の水田がひろがるという景観であったようです。

慶長19年(1614)の大坂冬の陣の時には、この鳴野から東北側の今福あたりで大きな戦いがおこなわれました。大坂方はこの場所に防御のために幾重もの柵を設けましたが、これを打ち破るために徳川方は佐竹義宣、上杉景勝らが中心となり、11月26日未明、攻撃を開始しました。大坂方も木村重成や後藤基次(又兵衛)、井上頼次らがこれを迎え撃ちました。戦は一進一退を繰り返しましたが、上杉軍の奮戦もあり、最後には徳川方がこの地を占拠し、大坂方は大坂城内に撤退することとなりました。豊臣期の天守閣は、現在の天守閣の位置よりももう少し東側にありましたので、鳴野一帯を良く見渡すことができました。豊臣秀頼は戦況を見ながら作戦をたて、援軍を送るなど指揮をとったようです。

(大阪市教育委員会 文化財保護課担当)



著名なジャーナリストで漢学者でもあった西村天因(本名、時彦)の撰による「鳴野古戦場碑」。(大正9年建立、城東小学校校庭の東側)